

作成日：2026 年 10 月 28 日

スペシャルオリンピックス日本 SO Girls Festival 2026 実施報告書

本イベントは、国連が定める「国際ガールズ・デー(10 月 11 日)」を記念し、スポーツを通じてすべての女性が自信を持ち、可能性を広げることを目的として開催いたしました。女性のスポーツ参加の促進と普及を図るための女性指導者の育成や、障害の有無にかかわらず参加できるスポーツ体験および健康チェックの機会を提供し、多様な参加者同士の交流を通じて相互理解を深め、多様性を尊重する社会の実現を目指して実施いたしました。



【イベント概要】

- 名称:スペシャルオリンピックス日本 SO Girls Festival 2026
- 日時:2026 年 10 月 11 日(日) 9:30~16:00
- 会場:大森スポーツセンター(東京都大田区)
- 実施内容:
 - 〈午前の部〉女性のスポーツ指導に関するコーチセミナー
 - 〈午後の部〉競技チア体験会/メイクアップ講習会/メドフェスト(健康チェック)受診
- 参加者:96 名
 - 〈午前の部〉22 名
 - 〈午後の部〉38 名 ※コーチセミナー参加者含む
 - 〈運営スタッフ・ボランティア〉35 名
 - (コーチセミナー講師 3 名/SONトレーナー 1 名/メイクアップ講師 4 名/大学生チーム 3 名/メドフェスト運営 18 名(医師・看護師・理学療法士等 8 名/順天堂大学生ボランティア 10 名)/事務局 6 名)
 - 〈SON アスリートアンバサダー〉 稲山芙雨珂さん
- 主催:公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- 後援:大田区、大田区教育委員会

【午前の部】

■ コーチセミナー

女性のスポーツ指導に関するコーチセミナーを実施しました。講師には、一般社団法人 S.C.P. Japan の井上由惟子氏、三倉茜氏、繁浪由希氏をお迎えし、女性アスリートがスポーツに参加する際の特性や配慮事項、女性が安心してスポーツ活動に参加できる環境づくりなどについて学びました。参加者同士の意見交換も行われ、女性指導者の育成や女性スポーツの普及に向けた理解を深める機会となりました。



【午後の部】

■ 競技チア体験会

ストレッチや基礎的な動きからスタートし、ポンを使用した演技やチームでのパフォーマンスに挑戦しました。初めて競技チアを体験する参加者も多く見られましたが、参加者同士で声を掛け合いながら活動し、会場は終始笑顔と活気に包まれました。

また、午前の部のコーチセミナーに参加した方々にも午後のプログラムへご参加いただき、セミナーで学んだ内容を実際の活動の場で活かしながら、アスリートとの関わり方やサポート方法について理解を深める機会となりました。最後は、体験会で学んだ演技を全員で披露し、一体感を感じながらプログラムを締めくくりました。競技チアを通じて身体を動かす楽しさや仲間と協力する喜びを体感するとともに、参加者同士の交流を深める機会となりました。



■ メイクアップ講習会

参加者は講師の説明を受けながら、メイクの基本的な方法やポイントを学び、自分に合ったメイクに挑戦しました。普段あまりメイクをする機会のない参加者も多く、楽しみながら新たな体験に取り組む様子が見られました。また、参完成したメイクを見せ合う場面もあり、交流を深めながら自分らしさを表現する楽しさや自信につながる機会となりました。



■ メドフェスト(健康チェック)受診

スペシャルオリンピックスの健康増進プログラムである「メドフェスト」を実施しました。参加者は血圧、身長・体重、柔軟性、視力等の健康チェックを受診し、自身の健康状態について確認しました。クリニカルディレクターならびに順天堂大学関係者の方々を主体に、医師、看護師、理学療法士、オプトメトリスト、視能訓練士の方々や大学生ボランティアの皆さんの協力のもと、一人ひとりに丁寧な対応が行われ、健康への意識を高める機会となりました。



【参加者からの感想】

■ コーチセミナー

- ・ 大変分かりやすく楽しく参加でき、今後の活動に活かせる内容であった。
- ・ 女性だけでなく、全てのコーチに必要な内容であり、自地区でも開催したいと感じた。
- ・ GIRLS に特化した内容で、多くの気づきや学びを得ることができた。
- ・ コーチの言動がアスリートに与える影響の大きさを改めて認識した。
- ・ アンコンシャス・バイアスは日常のさまざまな場面に存在しており、まずはその存在に気付くことが大切であると感じた。
- ・ スポーツの場がポジティブな思考を育むことの重要性を再認識した。
- ・ 学んだ内容を自身の競技現場やコーチングに反映していきたいと感じた。
- ・ ゲーム形式や参加者同士の交流を交えた進行が活発な議論につながり、大変参考になった。
- ・ SO アスリートを対象とした具体的な講習を想定していたため当初は戸惑いもあったが、結果として現状を知る良い機会となった。
- ・ コーチたちの考え方を知ることができ、新しいアスリートを迎える際などに実践したいと感じた。
- ・ 早速チーム練習でポジティブになる運動を実践したところ、普段より子どもたちが元気になった。
- ・ 女性とスポーツを取り巻く環境や、日本社会における女性の立場について意見交換でき、多くの課題を共有することができた。
- ・ アスリートとの関わりにおいて、できることを増やしていけるよう導くことがコーチの役割であると考えられる機会となった。
- ・ 女子アスリートの現状や今後意識すべきことが明確になり、有意義な時間となった。
- ・ 「こんな私でも大丈夫」「女性の私でも大丈夫」と、自分らしく活動することへの自信につながった。

■ 競技チア

- ・ 女子ならではの取り組みで、BOYS がいないため周囲の目を気にせず参加でき、とても良い取り組みだった。
- ・ みんなが嬉しそうに参加しており、見ている側も幸せな気持ちになれた。
- ・ 技術だけでなく、チアの精神についても学べる機会となった。
- ・ 初めてのチア体験だったが、音楽に合わせて体を動かす楽しさを感じた。
- ・ 経験のあるアスリートがリードする姿が印象的であった。
- ・ ポンポンを持ったアスリートがとても嬉しそうにダンスしていた。
- ・ アスリートが集中して振り付けに取り組む様子が見られた。



- ・ みんなと一緒に踊ることができ、とても楽しかった。
- ・ 参加者も楽しんでおり、自分自身も最後には一緒に楽しむことができた。
- ・ 他地区・他競技の参加者やコーチとの交流ができることも魅力であった。

■ メイクアップ講習会

- ・ 関心を広げる良いきっかけとなった。
- ・ とても楽しみながら参加することができた。
- ・ メイクをしたアスリートの表情が明るくなり、キラキラしていた。
- ・ 自分と向き合う大切な時間となった。
- ・ 洗顔やスキンケアを通じて、自分自身を大切に扱うことの大切さを学んだ。
- ・ 顔にシールやアイシャドーをしてもらい、とても嬉しかった。
- ・ クレンジングの仕方など、普段経験できないことを学ぶことができた。
- ・ 一人の女の子として接してもらえたことが嬉しく、自信につながった。
- ・ お化粧をすることやきれいになることを楽しむ機会となった。

■ メドフェスト

- ・ 自分の健康状態を知る良い機会となった。
- ・ 細やかな配慮と気持ちに寄り添った声掛けのおかげで、安心して最後まで参加することができた。
- ・ 脚気の検査が楽しかった。
- ・ 安心して受診することができた。
- ・ リラックスした雰囲気の中で受診できた。
- ・ 想像以上に細かく診てもらうことができ、ストレッチの方法なども教えてもらえた。
- ・ 健康診断を受けることができて良かった。
- ・ 丁寧に診てもらうことができ、安心感があつた。
- ・ これまで気づかなかった近視を発見することができた。
- ・ 保護者にとっても健康について考える良い機会となった。